

病院広報誌

わ げ ん あ い ご
和顔愛語

医療法人 真生会
真生会富山病院
SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

vol,35

💡 **真生会伏木クリニック開院**

自利利他の理念に基づく総合診療を提供するクリニックを目指して 古谷正晴院長にインタビュー
いたみのぎもん/スタッフ紹介

💡 **子育てカフェができるまで (前編)**

保育課 課長代行 田邊裕



真生会伏木クリニック



真生会伏木クリニックのスタッフ

自利利他の理念に基づく総合診療を

提供するクリニックスを目指して

真生会伏木クリニックス院長 古谷正晴

令和4年9月に、富山県高岡市伏木に「真生会伏木クリニックス」が開院しました。院長は真生会富山病院に永年勤務していた古谷正晴医師です。開院から3か月の節目にインタビューしました。

(インタビュー 齋藤美世)



古谷正晴院長

●現在の心境をお聞かせください。

一言で言いますと感謝と喜びです。まず、この地にクリニックスを建てようと思いついてくださった方に対する深い感謝が第一です。さらに、企画・設計・施工などに携わってくださった方々、そして日々苦楽をともにしているスタッフへの感謝です。どれ一つが欠けてもクリニックスはオープンできませんでした。そして、この私を院長に任命していただいたことに深く感謝します。また「近くにクリニックスができてとてもありがたい。心待ちにしています」とおっしゃる住民の方々や、遠くからでも当クリニックスを選んで受診してくださる患者

さんに深く感謝しています。次に、毎日診療することそのものが喜びです。医療法人真生会の理念である「自利利他」とは、他人を幸せにする(利他)ことが、そのまま自分の幸せになる(自利)ことです。診療を通して患者さんに喜んでいただけたという実感が、そのまま自分の喜びになっています。

●真生会富山病院時代の診療と、真生会伏木クリニックスで現在行っている診療の違いはありますか。

はい、大きく違います。真生会富山病院では外科と緩和ケア内科を担当していました。こちらでは加えて一般内科、発熱外来、慢性疼痛ケ



クリニックの外観

ア、漢方診療、ワクチン接種など、幅広く対応しています。また、超音波検査やレントゲン検査、新型コロナウイルス抗原検査、薬の調剤も行っています。新型コロナウイルス感染症の患者さんの診療は昼と夕方に専用の診察室で行っており、地域の皆様からとても喜ばれています。

●来院された方からどのような声が届いていますか。

診察の際、患者さんのお話を傾聴するよう努めています。「話を聴いてもらえて本当に楽になりました。今度来るのを楽しみにしています」と笑顔で言われる方、「いろいろな病院にかかったけど続かなかった。ここで初めて続けて治療を受けるようになりました」と言われた患者さんのご家族もありました。

●訪問診療も行っていると聞きました。

がん患者さんの在宅緩和ケアを行っています。がん終末期で食事が食べられなくなつた方へ中心静脈栄養(太い血管にカテーテルという管を入れて高カロリー点滴をすること)や、鎮痛剤が飲めなくなった場合に持続的に鎮痛剤を点滴したりしています。

●自利利他の理念に基づく総合診療とは、どのような診療でしょうか。

総合診療とは病気だけでなく患者さんの心と体、家族関係など、全体を診ることと個人的には考えています。病気を治療することはとても大切ですが、そこにとどまらず、患者さんが幸せになつていただけるよう援助することがそのまま医療者の幸せになっています。

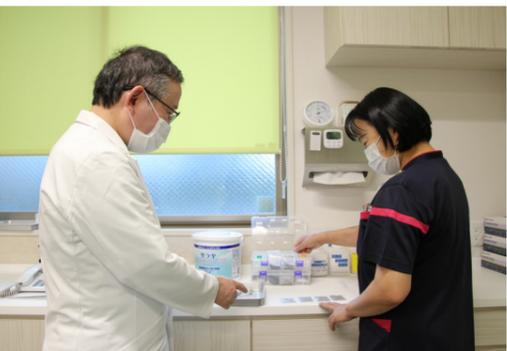
●どのような医師でありたいと思われませんか。

今後は診療のレベルアップと患者指導の充実、漢方と傾聴を組み合わせた慢性疼痛治療に力を入れていきます。

「この医師にならまかせられる、この医師にかかって死んでも悔いはない」と思われる医師でありたいです。常に勉学を怠らず、最先端の医学に広く精通し、技術レベルも高い医師を目指します。



受付



薬剤の確認



2階の多目的ホールから眺める風景

古谷院長の半生に迫る！
真生会伏木クリニックスホームページはこちら



もっと知りたい!

- スタッフ紹介 -

真生会伏木クリニック



非常勤
内科医師

なたづか とし き
刀塚 俊起
(真生会富山病院 副院長)

新規のクリニック開業であり、住民の皆様に受け入れてもらえるかという不安がありました。それは杞憂に終わりました。思いのほか真生会の医療を支援していただいていることを実感しました。内科診療面のサポートとして携わっていますが、古谷院長は内科疾患への対応力も十分でした。近隣で新型コロナウイルス感染症に対応できるクリニックがなく、高岡市内の遠方からも患者さんが訪れています。なくてはならないクリニックとなるように、古谷院長をサポートしていきたいと思ひます。



事務次長

はまな たかゆき
濱名 孝行

クリニックの事務責任者として、経営管理、マネジメント、環境整備を担当しています。クリニックの立ち上げから携わった経験は、私の職業人生にとって、大きな転機となりました。初めての患者さんをお迎えした時の感動は忘れられません。「伏木に真生会ができて良かった。安心して暮らしていける」と地域の皆様に喜んでいただけるようなクリニックづくりを「裏方」として支えていきたいと思ひます。



看護師

あいざわ みきこ
相澤 弥喜子

伏木の美しい景色が眺められる明るいくリニックです。駐車場には海風と共にトンビが訪れます。夏は海に虹がかかり、秋は赤とんぼに出会うこともできます。のどかな時間を感じられます。

医療法人真生会の理念のもとに建つ真生会伏木クリニックで、対人援助論を学びながら日々の実践を心がけており、来院された方々に笑顔や安心感が一つでも増えるような看護を行うことを目指しております。



医療事務

しらい しずこ
白石 淳子

来院された方が、はじめと終わりに接する大切な場所、受付窓口において医療事務全般を任せていただいています。さまざまな問い合わせにも適切にお応えし、できるだけ待ち時間を短く、安心して診察を受けていただけるように努めています。生活保護・難病指定・労災などの手続き、特定健診・がん検診・予防接種、各種の請求業務など幅広く行っています。ほっとする雰囲気^{わけんあいご}を大切に和顔愛語(やさしい笑顔とあたたかい言葉)で接したいと思ひます。

いたみのぎもん

真生会伏木クリニックには「疼痛緩和内科」があります。
どんな診療をするところなのでしょうか?



緩和ケアは、診断時から始まっています。



Q1 疼痛緩和内科ではどんな病気を診てもらえますか?

主にがん患者さんの緩和ケアを行っています。「緩和ケア」と聞くと「痛みがない」と受診してはいけないのでは…」と思われる方が多く、そう考える医療者もいます。しかし、そうではありません。がんを診断された時から患者さんは不安と苦しみを感じておられます。診断時から緩和ケアが始まっているのです。たとえ痛みがなくても外来を受診していただき、患者さんとご家族からよくお話を聴くことがケアになります。今後、予想されることを説明し、必要な医療・介護サービスについても早めに相談して準備します。痛みが出てくれば適切な鎮痛剤を処方し、痛みを緩和します。また痛み以外のさまざまな症状にも対応します。通院が困難になれば在宅緩和ケアに移行します。そして最期に「いい人生だった。生まれてきてよかった」と思っていただけのようにサポートできることが目標です。がん緩和ケア以外にも、慢性腰痛、^{たじまほん}帯状疱疹、後神経痛などの病気を診ています。



まずは整形外科専門医の受診を。原因がはっきりしない場合、傾聴と処方を組み合わせて対応することがあります。



Q2 腰痛が1年以上あります。レントゲンやMRIを撮っても異常がありません。痛み止めを飲み続けられよいでしょうか。相談に乗ってほしいです。

発症から3カ月以上続く腰痛を慢性腰痛と言います(『腰痛診療ガイドライン2019改訂第2版』)。まずは整形外科専門医に詳しく診察していただくことが大切です。検査で異常がない場合、腰の骨や椎間板や神経などに異常がないのに起こる原因がよくわからない痛みや、心理社会的要因が影響している痛みの可能性があります。このような場合は通常の鎮痛剤では効果があまりないことが多いため、漢方薬を処方して、痛みが少しでも和らぐように患者さんのお話をよく聴いております。「私の痛みをわかってもらえた」と感じていただけると痛みは軽くなる人が多いです。

子育てカフェが できるまで - 前編 -

公認心理師として心療内科に勤務しながら、保育課の責任者も務める田邊裕さん。
地域と病院をつなぐことに魅力を感じ、地域とのコラボレーションを企画したいと動き始めました。
2回にわたって紹介します。

●「まちの保育園」との交流 ―地域と保育施設をつなぐコミュニティ コーディネーターの存在―

東京にある「まちの保育園」は、園内にコミュニティコーディネーターを配置しているユニークな保育園です。地域（コミュニティ）と保育施設をつなぐ専任職員がコミュニティコーディネーターです。保護者と園の関係性、子どもの興味・関心を大切に、園を地域に開いていく重要な役割を果たしています。「まちの保育園」を見学し、子どもをとりまく人たちの生き生きした雰囲気を受けて、真生会でも木の子ハウス（保育施設）の雰囲気を病院に還元できないか、保育現場のニーズに職員や地域の方々が応えることはできないか、と考えるようになりました。



田邊裕さん

木の子ハウスは想像力のかたまりのような場所です。ユニークな作品、遊びが至るところに広がっています。



ユニークな遊びをする子どもたち



木の子ハウス

私も子どもたちの遊び心に刺激され、新たな発想ができたことが何度もありました。このような体験から、地域とのコラボレーションによって保育は充実し、地域も元気になるのではないかとこの思いが強くなっていきました。（次のページに続く）

●子育てカフェ実現までの道のり ―地域おこし協力隊、子育てサークル とのつながり―

地域とのコラボレーションを考えていたとき、射水市の市報『広報いみず』で地域おこし協力隊の存在を知り、実際にお会いすることができました。地域の子育て世代の皆さんが、真生会でのような企画が開催されたら喜ばれるか率直に聞いてみたところ、市内の子育てサークル「射水県外ママサークルこらーれ」を紹介されました。サークルの方からこんな話をお聞きしました。

「子育て中、受診するほどでもないけれど、これはどうしたらいいのだろう、と思うことがたくさんあります。それを調べる手段の多くはインターネットの検索です。でもインターネットの情報をどこまで信頼したらいいのか分からなくて困ることもあります。病院スタッフの確かな情報、助言を聞けたらうれしいのではないのでしょうか」

「お母さん」として生きていることが 多いけれど、『わたし』になる時間 も必要」

そのように話しあう中で生まれたのが子育てアドバイス・音楽演奏・交流を含めた子育てカフェのコラボ企画です。病院内の「レストラングリーンハット」で、心療内科の明橋大二医師と木の子ハウスの保護者である演奏家の安田健太さん・菜々子さんご夫妻の演奏と、子育てに関するトーク&質問コー



演奏家の安田健太さん、菜々子さんご夫妻



アーティストの一面を持つ
心療内科の明橋大二医師

ナーを設けました。明橋医師の、普段とは違う面に親近感がわいた方もあったのではないのでしょうか。

安田さんは、3児の親御さんとして日々の子育てのことを笑いも交えながら語ってくださいました。明橋医師は安田さんの体験を聴き、「中間反抗期」という小学1、2年生のお子さんが何にでも口答える時期があることを解説しました。「質問の時間」にはフロアから多くの質問が届きました。答え切れなかった皆さんの質問にもお答えできるよう、これから企画したいと思います。（続きは次号をお楽しみに）

診療案内

診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科、神経内科、放射線科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、真生会デンタルクリニック（歯科）

受付・診療時間

【午前外来】 平日・土曜日

受付 8:00～11:30

診察 8:50～（※整形外科のみ 9:00～）

7:45 から整理券を配布します。

正面玄関は 7:45 に開きます。

【夕方外来】 月、水、金曜日のみ

受付 16:00～18:45

診察 16:30～

（※整形外科と眼科のみ 17:00～）

15:40 から整理券を配布します。

2つ以上の科を受診される際は、午前は 11:00 まで、夕方は 18:15 までに受付をお済ませください。

【休診日】 土曜日午後、日曜日、祝日

休診時間帯は、当番医師が待機しております。

※診療日は科によって異なり、診療時間を変更する場合がございます。診察医の希望のある方は、事前にお確かめください。

おすすめメニュー

当法人の職員も利用する「あんしん弁当」（有限会社ウエルカム）から、おすすめ商品の紹介です。

食べたいときに3分で熱々！

冷凍ピザ（税込 600 円）



新商品の冷凍ピザは、食べたいときに容器ごと電子レンジに入れて2分半から3分待つだけで簡単にできあがります。外はカリッと、中はモチっとした食べ応えのある生地です。ピザソースに自社配合のトマトケチャップを合わせたトマトソースをベースに、チーズ、サラミ、インゲン、スイートコーン、オニオンスライスをトッピング。一番のこだわりはオニオンスライスで、食感と甘味がポイントとのこと。4等分に切れているのも食べやすくていいですね。ウエルカム小杉インター店、大島店にて販売中です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

有限会社 ウエルカムの

ホームページはこちら→



編集後記

令和4年11月中旬より、真生会富山病院では内科の一部の患者さんに、「AI^{エーアイ}問診」（株式会社ユビー）の導入を始めました。従来、紙の問診票に症状を記入していただきましたが、AI問診では患者さんのスマートフォンもしくは専用タブレットを使用。入力された症状から、AI（人工知能）が最適な質問を自動で判断し、お伺いしていきます。2～5ページの特集で紹介の真生会伏木クリニックにも導入されています。詳細な問診を通じて、より質の高い医療の提供に努めてまいります。

敷地内全面禁煙を実施しています。

（※病院建物内、駐車場、駐輪場すべて）

電子タバコについても

従来のタバコと同様に

敷地内全面禁煙としています。



ご理解とご協力をお願いいたします。